



— 節分祭「豆打ちの儀」—

令和3年2月2日

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

報社 あそみや

令和3年4月15日

第80号

発行所

阿蘇神社社務所

多良見町化屋862

☎ 0957-43-5235

一陽来復

阿蘇神社

宮司 大島 大明

コロナ禍での今年のお正月、全国各地の著名な社寺への初詣参拝者数は総じて減少したようですが、それでも日本の総人口を超える数になると言うから驚きです。

昨年末よりコロナワクチンの完成が報じられ、日本でも医療従事者へのワクチンの接種が開始されました。ワクチンの確保が未確定

とか、副反応を案じる声も多いようですが、ワクチン接種はコロナ

終熄へ繋がるものと思います。

一陽来復とは、元来は易の用語で陰気から陽気に移り変わる暦の月をいいます。これが転じて厳しい冬が去り春(新年)が来ること、また悪いことが続いても必ずよい方に向かうという希望のある意味でも使用されるようです。

一年以上続くコロナ禍での生活ですが、必ず平穏な日常が来ることを信じて待ちたいものです。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をにかけて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

一、世のため人のために奉仕し、

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

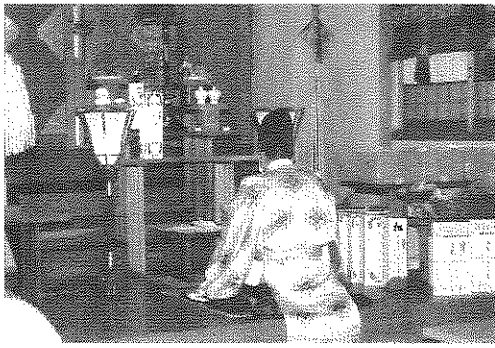
一、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

恒例 節分祭 コロナ終熄を願って斎行!!

阿蘇神社の節分祭は、今日では諫早市の迎春行事の一つと称されています。例年の節分祭では、町内外より多くの人が一年間の福を求めて参拝されます。然し乍らコロナ禍の今年は、感染拡大防止のため、舞台を組んでの豆撒き行事が中止となり、淋しい節分となりました。

当初は規模を縮小しても豆撒きを実施する予定でしたが、昨年末より全国的にコロナの感染が急激



-祝詞奏上-

に拡大し中止を決定しました。今年の節分祭は二月二日。夕刻五時よりの節分祭には、神社総代・協賛商社代表者・神社評議員の代表が参列して斎行されました。例年は「開運招福」を祈念し祭典が行われますが、コロナ禍の今年は「悪疫退散・コロナ退散」を併せて祈念した祝詞を宮司が奏上しました。祭典には神社総代二名と節分祭協賛商社の代表者が袴を着けて参列、恒例の「豆撒きの儀」では宮司と袴姿の三名が、「福は内鬼は外」「悪疫退散・コロナ退散」を唱えながら豆打ちを行いました。最後に代表者が玉串奉奠を行い、節分祭の神事を終了しました。神前には小袋に入れた「節分福豆」を供えて祓い清め、祭典後に境内の仮設授与所で参拝者に配布授与されました。例年であれば、境内に仮設舞台を組み、商工会の青年部・女性部の出店が並び、多くの人出で賑や

かな節分の夜であったはず、残念至極です。昨年来の新型肺炎コロナウイルス感染症が、年末より全国的に感染拡大、長崎県でも新年早々に感染者が千人を突破、今では何時・何処で感染しても不思議でないほどの環境になってきたようです。神社では関係諸団体と協議を重ね、節分祭での「豆撒き行事」の中止を決定しました。仮設舞台を組んでの豆撒きは三密を避けることが出来ません。数年前より豆撒き行事に参加申し込みをしていた方もあり、実に残念な事態になってしまいました。



-火烧神事-

火焼神事は旧年中の御神札・御守・破魔矢・熊手等を焚き上げる祭事ですが、当日は「強風注意報」が発令中で、予定を早めて祭典を行い、神社総代が忌火で御神札に火を着けました。節分祭を実施するに当たり、今年も協賛金としてご支援をいただきました。今年の豆撒きは中止になりましたが、協賛金で袴二組を新調させていただきました。御芳名を記し御札を申し上げます。《敬称略》



-節分福豆の配布-

- ◇初穂料 西平 隆
- ◇御神酒 千葉剛次
- ◇献 菓 八戸廣子、白岩豆店

◇節分祭特別協賛金

関山祥一(長崎市)、千葉剛次、(株)石橋工業、森 義憲、ヤマエ久野(株)長崎支店、(株)森 開発、(株)森住宅、(株)ティエム、(株)ききつ青果、喜々津カントリー倶楽部、大石ボデイ、(有)南部建設工業、(株)カステラ本家福砂屋多良見工場、(株)唐草、スナックアロン、(有)多良見砕石、中村医院、(有)徳永自動車、やの皮ふ科、西部ガスエネルギー(株)長崎支店、(株)アサヒ、(有)後田塗料商事、黒木建設(株)、松尾装業、アルファ印刷、アポロカーズ、慈恵病院、(有)森 商会、(有)やまぐち住建、(株)溝上建築、共栄機械工事(株)九州支店、総合アルミ、(株)吉川金属商事、竹迫整形外科、松屋眼科医院、たか動物病院、大杉車輛(有)喜々津新聞販売センター、(株)多良見住宅、(株)小島工作所、(有)あづま屋、(有)菅原産業、(有)もろおか薬品、山崎魚店、イヌオ胃腸科外科医院、(株)雄 苑、喜々津美容室、つくし書道教室、ますだ小児科内科医院、大久保クリニック、徳永建設(株)、マエダ住宅(株)、(有)吉野企画建設、レッカーセンター三根、西原電気商会

以上

皇紀二六八一年辛丑 令和三年の紀元祭を斎行!

二月十一日は神武天皇が奈良橿原の宮に即位された記念日で、今年には皇紀二六八一年になります。午前十時に開始された紀元祭では、先ず宮司が先人の建国の苦勞を偲ぶとともに皇室の弥栄と氏子崇敬者を始め、国民全ての幸を祈念する祝詞を奏上。引き続き喜々津三曲会の会員四名により尺八の奉納演奏が行われました。

最初に祭典曲「越天楽」続いて奉納曲「八千代」と二曲を神前に奉奏、優雅な尺八の音色が殿内に流れました。



-尺八の奉納演奏-

次いで尺八の伴奏で「紀元節の歌」を斉唱し、最後に参列者代表が順次玉串を捧げ拝礼を行い、祭典を終了しました。

紀元祭に察し初穂料・奉献酒を賜りました。ご芳名を記しお礼を申し上げます。
《敬称略》

◇初穂料◇

喜々津三曲会、(有)森商会 森 誠司、JA長崎せいひ理事 谷口謙太郎、森 強、JA長崎せいひ喜々津支店長 田添一宏、慈恵病院

理事長 松本卓郎、北島守幸、松尾義光、森高永久、高柳伸市、峰輝雄、西平 隆、辻 秋義、川口勉、山下彦幸、内村典秋、前山茂大、中路 徹、森 英敏、原口博道、犬塚 勇、中路英憲、松尾勝蔵、北島勝幸、福田泰昭、黒木康吉、坂井義則、金水勝美、松尾一彦

◇奉献酒◇

たちはな信用金庫多良見支店長 山下 圭、十八親和銀行多良見町支店長 楠本春樹、十八親和銀行多良見中央支店長 中田直彦

◇総代会の会務報告◇

令和二年度に実施した事業の概略をお知らせします。

① 祭典時のコロナ対策

祭典当日の受付には、非接触型体温計と手指消毒液を用意、参列者にマスクの着用を求め、祭典後の直会は全て取り止め、感染防止に努めながら祭典を実施しました。

② 注連縄づくり

恒例の「注連縄づくり」は十二月六日に行われました。今年には総代・評議員・元総代他有志の二十八名が参加されました。参加いただいた皆様方にご慰労とお礼を申し上げます。

③ 門松づくり

十二月二十日に「竹切り」二十九日には「門松づくり」他正月の準備作業を行いました。正月用のテントの設営、看板の取付、鳥居への竹・椎の木の飾り付けなどを行いました。

④ 初詣と節分祭

新年恒例の樽酒の鏡割りは取り止めました。節分祭当日は午後二時に集合して準備作業。豆撒きが中止、出店もなく淋しい節分祭になりました。

令和三年「歌会始」御題「実」

御製

皇后陛下御歌

人々の願ひと努力が実を結び 平らけき世の到るを祈る

感染の収まりゆくをひた願ひ 出て立つ園に梅の実あをし

毎年正月に行われる皇室の新年

行事「歌会始の儀」は、新型コロナウイルスの急激な感染拡大を受け延期されていましたが、三月二十六日に皇居・正殿「松の間」でおこなわれました。

今年は一萬三千六百五十七首が寄せられたとことです。「歌会始」は皇室と国民を繋ぐ皇室行事です。参加してみませんか。

来年の歌会始詠進要項(要約)

一、お題 「窓」

令和四年の歌会始のお題は「窓」ですが、「窓」の文字が詠み込まれていれば「窓辺」「車窓」「同窓」のような熟語にしても差し支えありません。

二、詠進要領

①お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首、未発表のもの。

②書式は、半紙(習字用半紙)を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名(本名、ふりがなつき)、生年月日及び職業(具体的に)を縦書きで明記。無職の場合は「無職」でも良いが、以前に職業に就いた事がある場合は、なるべく元の職業を記載して下さい。

③毛筆で自書することが出来ない場合は、代筆でも可ですが、代筆の理由及び代筆者の住所・氏名を別紙に書いて詠進歌に添付のこと。

三、注意事項

次の場合は失格となります。

①お題を詠み込んでいない、短歌の定型でない、用紙が縦長の場合。

②一人で二首以上詠進した場合、毛筆でない場合。

③すでに発表された短歌と同一、または著しく類似する場合。

④詠進歌を歌会始の行われる以前に、新聞、雑誌その他の出版物・年賀状等で発表した場合。

⑤その他詠進要領に依らない場合。

四、詠進のあて先と期間

〒一〇〇一八一一 宮内庁「宛」とし、封筒に「詠進歌」と書き添える。詠進歌は小さく折って封入して差し支えない。九月三十日の消印まで有効。

◆奉納御礼◆

年末年始に以下の通り奉納を賜りました。御礼を申し上げます。

一、鏡餅一重 中村 晉 殿

一、蜜柑枝 森 藤男 殿

一、境内敷設用玉砂利 (有多良見砕石) 石場 一広 殿

一、初穂料 中村 晉 殿

徳永建設㈱ 徳永孝次 殿

一、奉献酒 八戸雅俊 殿

荒木哲生 殿

◆あとかぎ◆

コロナ禍の中での正月、年末の風雪警報も解除され、三が日は好天候に恵まれ多くの参拝者を迎えることが出来ました▼昨年末より国内でコロナの感染が拡大、長崎県でも感染者が増え、感染防止策を講じての初詣となりました▼今春よりワクチンの接種が開始されましたが、コロナの変異株が感染拡大しているようで、今後不安な日常になりそうです▼コロナ禍の中、諫早市長選・市議会議員選・県議補選が行われました。当選された新市長及び議員各位には、諫早市の更なる発展に尽力していただきたいと思います▼コロナの感染は、まだ続きます。ご自愛下さい。